

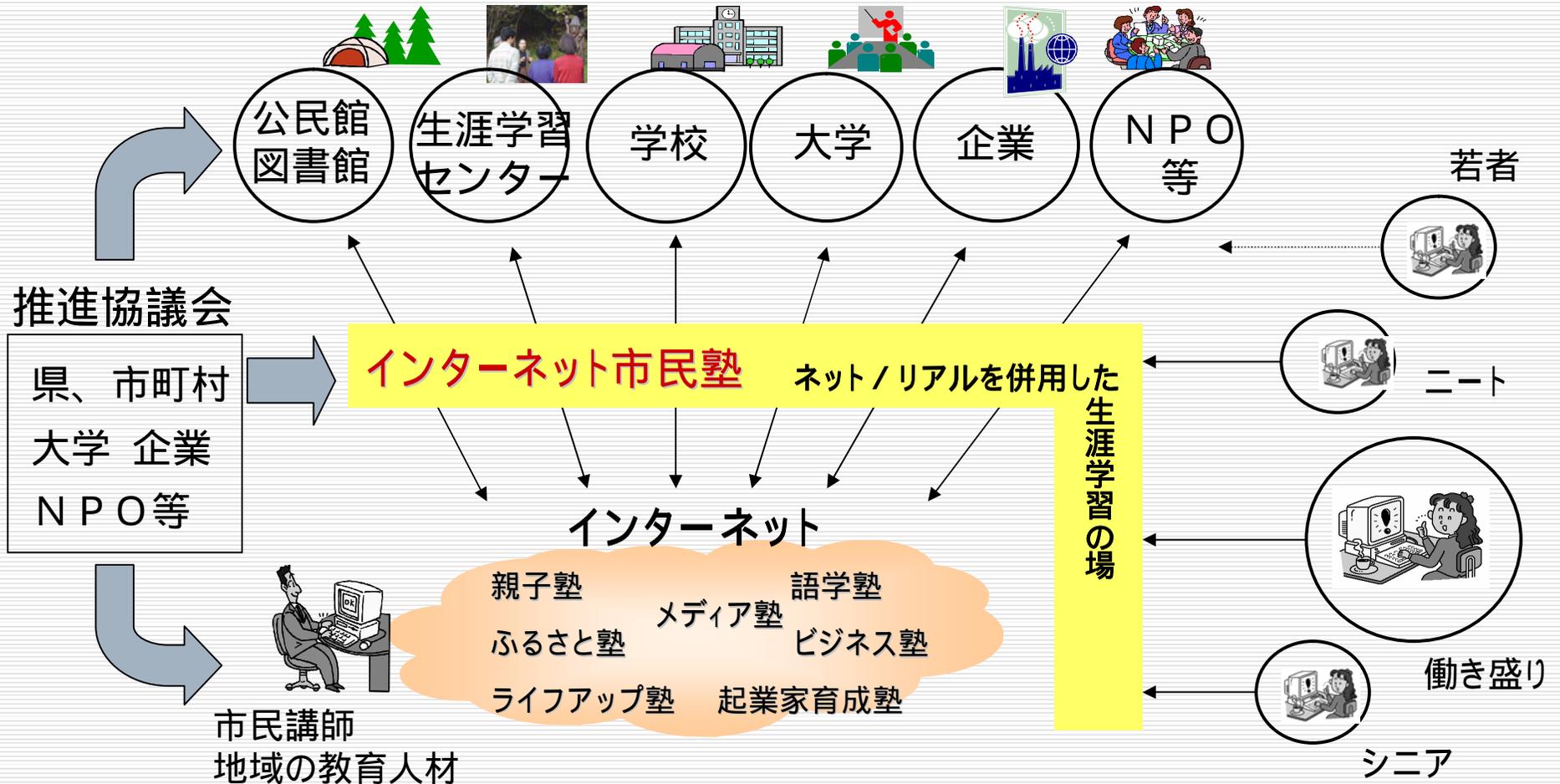
ICTを活用した地域プラットフォーム

インターネット市民塾の取り組み

株式会社インテック

インターネット市民塾のしくみ

集合学習、体験学習、社会参加、起業、地域活動



30分読みきり講座 45歳から始める「シニア(熟年)の居場所クラブ・シニアネットとやま」の楽しみ方教えます。 - M

シニア(熟年)の居場所クラブ

「シニアネットとやま」で、アーバン(都市型)ライフを楽しみませんか！

富山社会人大変開校50周年記念事業
～少子高齢社会「元気シニアの社会還元運動」～

価値あるシニアの社会参加クラブ

…喫茶店でお茶を飲みながら生きがい、開発と仲間づくり…

平成18年3月19日
喫茶店＆レストラン
パンクでオープン

**シニアの居場所クラブ
シニアネットとやま**

団塊の世代の第二の人生設計もアドバイス

このクラブでは、自分の経験や知識を生かしながら社会の中で活動したい人を応援し、同じ思いの人とひとが、出会い一緒に楽しみ、学び、そして社会に貢献することを目指す。

質問
掲示板
終了

学習ノート
を保存する

ページが表示されました

商店街再生の方向～富山市中心商店街の変遷と現状～ - Microsoft Internet Explorer

商店街再生の方向

活気ある商店街にするために

商店街再生の方向

富山市中心商店街
富山市中心商店街ってどこ？

商店街の現状

富山市中心商店街の変遷と現状

・相対

わたしおこし講座 - Microsoft Internet Explorer

わたしおこし講座

わたしおこし講座

概要

ひとりの「女性」としての自分を発見し、スクーリング等を通じて、継続してコミュニケーションが取れる関係を築きながら、自分らしい働き方を見つける講座です。起業していくために知っておかないといけない、法律関係、事務処理、コミュニケーションワークの作り方などを学びます。

講習のねらい

- コミュニケーションが取れるようにネットワークの土台を作る。
- 25以上の業種、事業があるを理解する。
- 起業するための予備知識レベルの情報を習得する。

講習スケジュール

講習回数	講習内容
●スクーリング(7月3日)	会場:ピオスおおがた「O'なや」
●第1回目(8月8日～)	会場:未定
●第2回目(9月5日～)	会場:未定
●第3回目(10月3日～)	会場:未定
●第4回目(11月7日～)	会場:未定
●スクーリング(予定:10月または11月)	会場:未定

と思うことはありませんか？

キドキ!! いいモノが見つかったり、新しい発見!! なんて思ってたのは、そんな昔ではない

ニーズが絞りきれない上、消費が低迷し、大型店での転問題も場所も決定したとはいえ、ユニー西町店になることになりました。商店街には、依然厳しい風

店街実態調査報告書(1995年)」によりますと、うちで、1985年には11.1%あった「繁栄」と答えて4.7%、無回答2.6%)しかありません。

なども少なくなり、中心市街地自体が、空洞化し

1. 「理想を追い求めるジュエリー作家」～自分探しの旅～

まずはじめに、19歳のジュエリー作家の「理想探しの旅」をご紹介します。

富山県には昔ながらの職人が多く、ものを作る仕事(職人)が、イデアで理想の世界を構築しています。彼らは、理想を追い求め、どんな苦しみや困難があっても、理想を達成するために、努力を怠りません。

再生ボタンを押して、動画を再生してください。

富山県立総合文化センター
1階101号室(101)

(株)イデアラボ

佐々成政を往く

主催:富山県工業課
後援:富山県、北陸電力、富山放送局

戦乱の続く時代であって、平和を呼び戻し、富山の街の礎を築いた戦国武将、佐々成政

いま、その波瀾の生涯に思いを馳せて、ふるさとを学ぶ

<講座の予定>

- ・インターネット
- ・スクーリング(7月3日)
- ・スクーリング(予定:10月または11月)

スクーリングレポート
黒1回 赤2回

- 講師へ質問
- 掲示板による交流
- 受講者からの情報提供
- スクーリングの案内
- スクーリングレポート

講師:
Webテキスト制作、講座進行:ITボランティア(4名)
構成:ネット学習2ヶ月、スクーリング3回
受講者からのレポート、受講者による交流

【市民塾文庫】ビジネススクールへの扉 - Microsoft Internet Explorer

富山CityFMラジオ放送とタイアップ

ビジネススクールへの扉

※この講座は、平成16年度に開講された講座を市民塾文庫としてお届しております

※ NEWS !!

「教材テキストを読む」
「論理的思考法とは？」

【講座の趣旨、構成】
ビジネススクールというと何か専門知識を教わるというイメージをもたれている人も多いでしょう。もちろんある程度の経営に関する知識は勉強することになります。しかし、多くのビジネススクールでは専門知識よりは問題発見能力、問題解決能力、プレゼンテーション能力が重視され、それら能力の向上の一貫として専門知識を勉強します。また、勉強する場というよりは訓練を受ける場といった方がよいでしょう。

それではなぜそのような能力アップが求められるのか。企業人の皆さんは仕事の仕事を毎日ほとんど考えずに漫然とこなすだけなら、何か問題が起こったが見につくとは思われません。また、そのような人にとって毎日の仕事は面白くない。そのような人には「もし私だったらどうするか？」といろんな局面で考えて、悩

ビジネススクールで提供される、ケースが予習、授業でのそうした訓練を受け、ビジネススクールの狙い。ただ、ビジネススクールに入って見て、「こんなところで、この講座です。皆さんに参加し、楽しんでほしい」と

富山県企業の事業活動紹介

会計の基本概念と貸借対照表

Review Quiz

Q 1-1

Watson Inc management decided to dissolve the company on December 31,1999. At the time of the decision,Watson's balance sheet was reported as follows.

Liabilities & Equity	
000 Liabilities	\$9,000
000 Equity	3,000
000 Total	\$12,000

assets is \$7,500K,what amount of the residual claim is left for Watson's

富山県企業の事業活動紹介

第1回 なぜ今モチベーションが必要か？

モチベーションの本質

- モチベーションは、通常はやる気や動機付けなどと同義語として使用されています。
- 経営者も、やる気、覇気、意欲、意識改革などの言葉が大好きです。
- しかし、よくよく考えてみるとどういう時に、このやる気が出てくるのでしょうか？

Copyright (C) TOYAMA INTERNET SHIMADZUKU All Right Reserved

目次へ 前のセッション もう一度見る 次へ

終了 質問 掲示板

学習ノート
学習ノートを保存する

講座B中小企業BBマネジメントスクール 第2回 - Microsoft Internet Explorer

http://tokyo-daigaku.shimadzu.com/school/00000004/1/koza_b_2_files/default.htm

中小企業が前川製作所から学ぶこと

会社で働くってどういう事？ - Microsoft Internet Explorer

会社で働くってどういう事？

第1回目

会社って一体何？

「会社の正体とは？」

Copyright © TOYAMA INTERNET SHIMADZUKU All Rights Reserved

目次へ 戻る もう一度見る 次へ

質問 掲示板 終了

学習ノート
学習ノートを保存する

地域デジタルミュージアム

住民による地域情報化の取り組みとして

地域みんなが学芸員（市民講師）



地域の自然、史跡、語り部・まるごと「学びの博物館」

ユビキタス・ラーニング

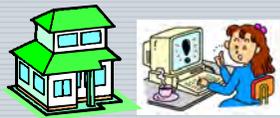


ネットワークに接続されている
学習財をキャッチ
実際に触れながら学習

市民講師により
地域の「宝」を発信



「出かけてみよう」



eラーニング



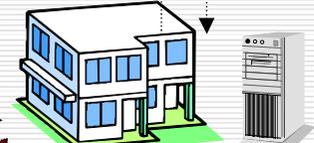
学習財を介した
知識交流

発見や感動
を発信

「感動を
伝えよう」



施設等での学習

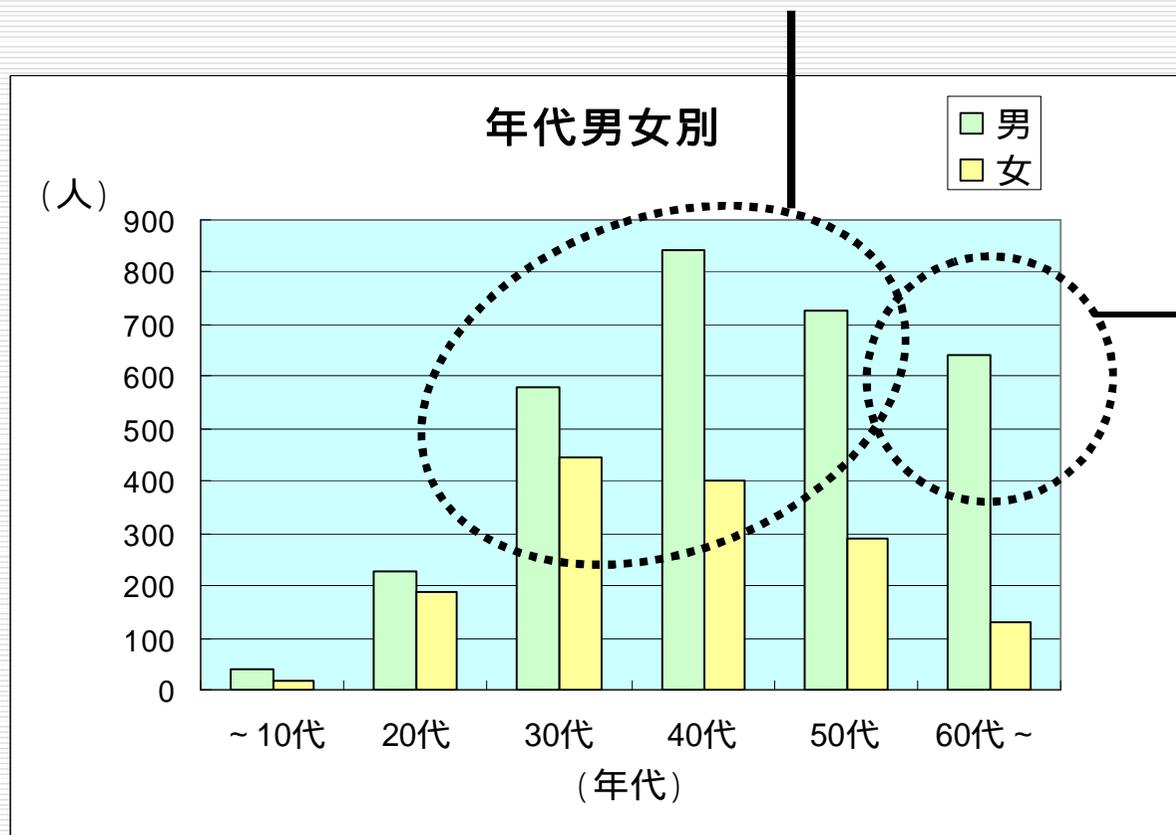


デジタル・ミュージアム
アーカイブ

幅広い世代が参加

働き盛りの世代が多く参加

シニアも増加！



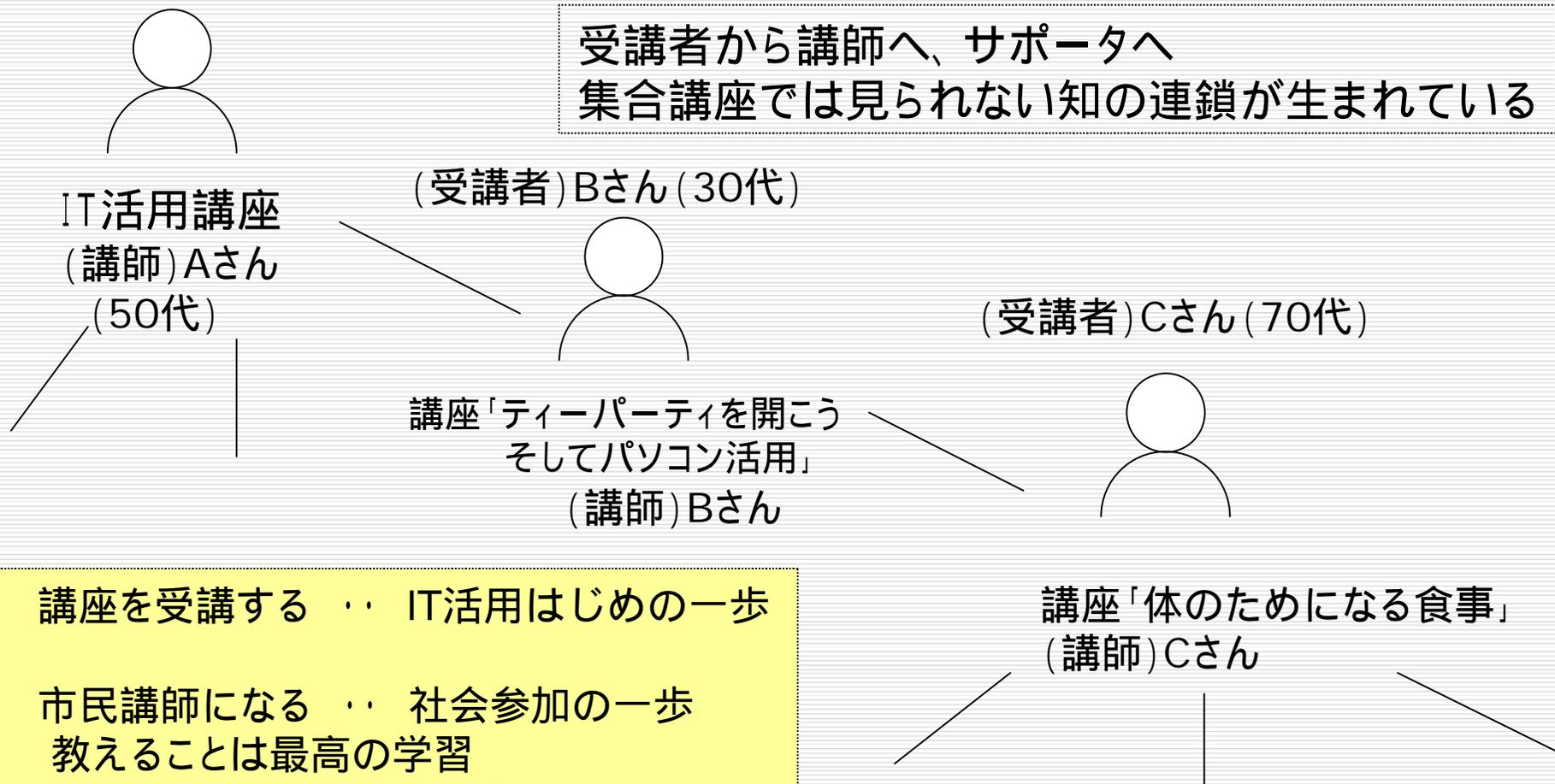
3年間で
2.7倍に増加

年間延べ利用者
約10万人

← 世代間交流
が生まれやすい →

知の世代連鎖

受講者から講師へ、サポートへ
集合講座では見られない知の連鎖が生まれている



講座を受講する … IT活用はじめの一步

市民講師になる … 社会参加の一步

教えることは最高の学習

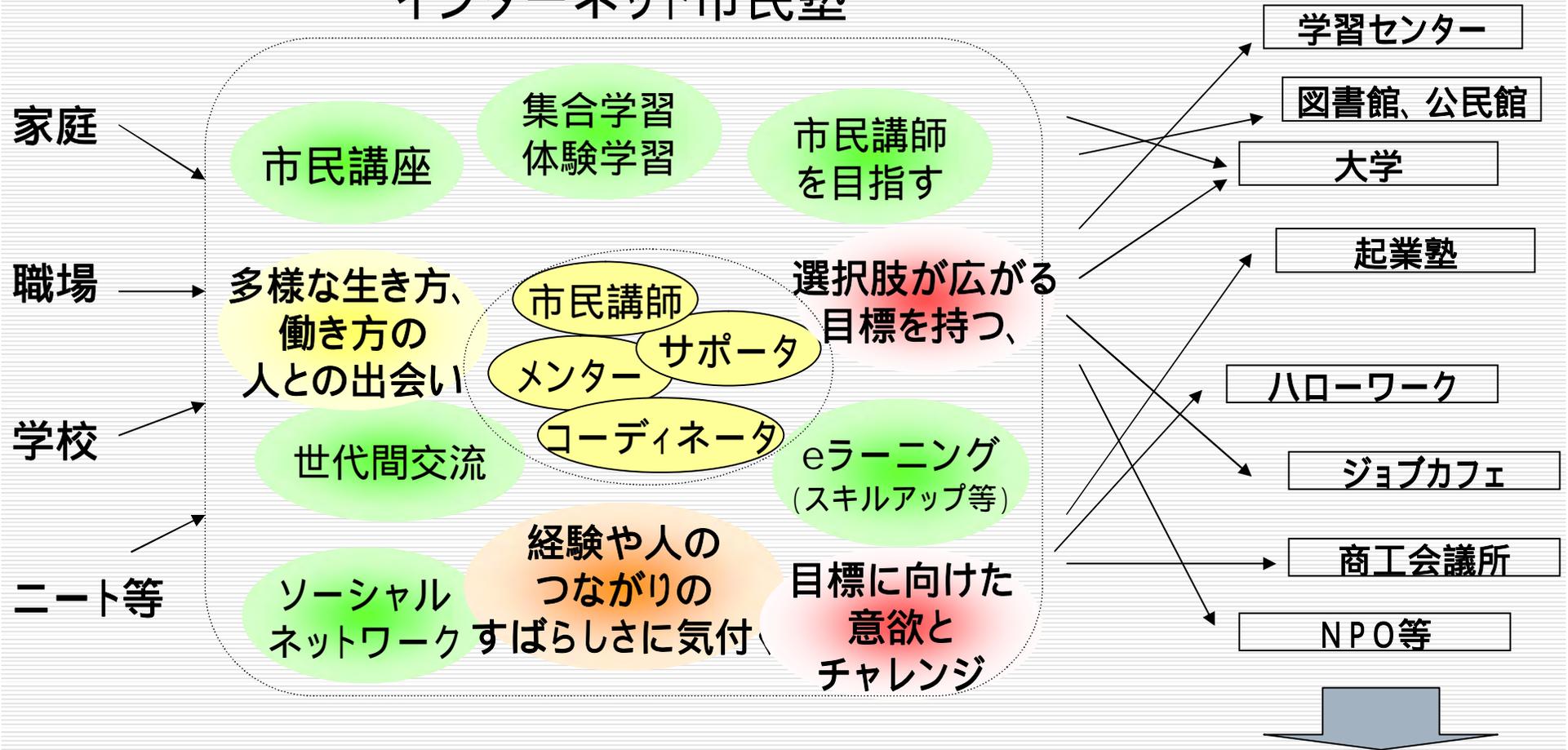
教えることは自身のエンパワーメント

地域が見える

選択肢が見える … チャレンジの一步

人のつながりが学びとチャレンジ意欲を育てる

インターネット市民塾



社会参加 再チャレンジ(企業内、就業、創業、地域活動)

インターネット市民塾での社会参加、再チャレンジ事例

事例 - 1

30代女性、結婚を機に退職後自宅からネット講座を開講。教えることの充実感を持ち、講師経験を重ね研鑽。

現在、地元の小学校や学習センターで非常勤講師を務めている。自宅でも教室を開き、シニアの情報活用を支援。

(写真省略)

事例 - 2

40代男性、昨年企業をやむなく退職。市民塾でのサポート活動を通じてIT活用技術を磨き、講座開催を契機に地域の人との繋がりを広げ、コンテンツ制作などを主な業務とする事業を開業。

事例 - 3

障害を持つ青年が、テープ起こしのスキルとともに地域の人との繋がりを得ることで、在宅での就労機会を獲得。社会参加できなかったときの障害の程度も回復が見られ、さらに地域の繋がりが生まれている。

事例 - 4

20代男性、現在ニート状態にあるが、社会との接点を少しだけ持ちたいと、市民塾のサポートに応募。

主役にはなりたくないが、講座のアシスタント的な活動を通じて少しずつ交流。

地域プラットフォームとしての波及

